

みずほCustomer Desk Report 2016/05/10号(As of 2016/05/09)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	107.46
TKY 9:00AM	107.36	1.1385	122.24	0.9726	GBP/USD	1.4422
SYD-NY High	108.60	1.1420	123.69	0.9735	AUD/USD	0.7372
SYD-NY Low	107.03	1.1375	122.10	0.9685		0.7385
NY 5:00 PM	108.32	1.1382	123.31	0.9712		0.7308
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		9.72/10.145	△25RR	1.255		Yen Call Over
NY DOW	17,705.91	▲ 34.72	債券市場	日本2年債	-0.2410	0.7bp
NASDAQ	4,750.21	14.05	日本10年債	-0.0950	1.9bp	
S&P	2,058.69	1.55	米国2年債	0.7060	▲ 2.8bp	
日経平均	16,216.03	109.31	米国5年債	1.1932	▲ 3.6bp	
TOPIX	1,306.66	8.34	米国10年債	1.7507	▲ 2.8bp	
シカゴ日経先物	16,300	190.00	独10年債	0.1260	▲ 1.8bp	
ロンドンFT	6,114.81	▲ 10.89	英10年債	1.4110	▲ 0.7bp	
DAX	9,980.49	110.54	豪10年債	2.3200	3.0bp	
ハンセン指数	20,156.81	46.94	為替市況	USD/CNH	6.5411	0.0217
上海総合	2,832.11	▲ 81.14	ドルインデックス	ドルインデックス	94.15	0.26
USDJPY 3M Vol	10.87	▲ 0.73%	商品市況	CRB指数	177.035	▲ 2.88
USDJPY 6M Vol	10.71	▲ 0.52%	NY金	1,266.600	▲ 27.40	
EURJPY 3M Vol	11.36	▲ 0.43%	WTI	43.440	▲ 1.22	
EURJPY 6M Vol	11.04	▲ 0.32%	Dubai Spot	42.21	1.39	

【昨日の指標等】

Date	Time	日	Event	結果	予想
5月9日	08:50	日	日銀金融政策決定会合 議事要旨	3/14・15分	-
	09:00	日	毎月勤労統計	3月	1.4%
	15:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	3月	1.9%/1.7%
	18:10	米	エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米	労働市場情勢指数	4月	-0.9
5月10日	02:00	米	カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

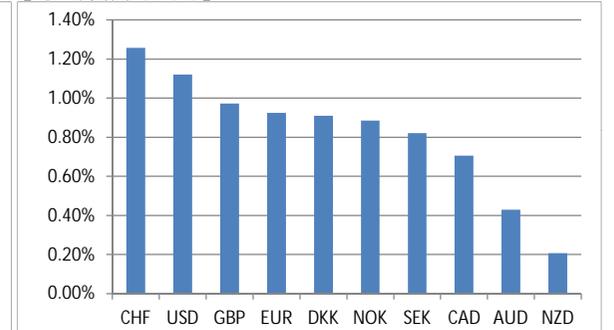
【本日の予定】

Date	Time	中	Event	予想	前回
5月10日	10:30	中	CPI/PPPI(前年比)	4月 2.3%/-3.7%	2.3%/-4.3%
	15:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 -0.2%/1.1%	-0.5%/1.3%
	15:00	独	貿易収支/経常収支	3月 20.6B/25.0B	20.2B/20.0B
	15:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 0.7%/0.5%	-1.0%/0.6%
	15:45	仏	製造業生産(前月比/前年比)	3月 0.6%/1.2%	-0.9%/1.6%
	16:15	米	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	17:30	英	貿易収支	3月 -£4.200M	-£4.840M
	23:00	米	卸売在庫(前月比)	3月 0.10%	-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	発表された日銀金融政策決定会合議事要旨(3/14・15開催分)において、何人かの委員が「マイナス金利の導入に伴う負の影響が現れているとの認識を示した」ことが明らかになったものの相場への影響は限定的となり、ドル円は107.36レベルで東京時間オープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大したこと等がサポート材料となり、ドル円は一時107.63まで上昇。但し、新規材料難から更なる上値追いはならず、107円台前半まで下落して推移。その後、麻生財務相が「為替の急激な変動は望ましくない。その場合は介入の用意がある」と発言したものの、特段材料視されなかった。午後に入っても暫くは107円台前半で推移していたが、引けにかけて再び上値を試す局面があり、ドル円は東京時間高値となる107.69まで上昇。結局、107.53レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ドル円は107.53レベルでオープン。オープン直後に一旦107.39まで下落。しかし、カナダの森林災害を受けた生産懸念から原油先物相場が上昇したことや日欧の株高等を背景にリスクオンとなり、円売りが優勢となり、108円台まで上昇。その後も底堅く推移し、結局108.33レベルにてNYに渡った。ユーロドルは1.1407レベルでオープン。オープン直後こそ1.1420まで上昇する場面も見られたものの、目立った材料が無い中、上値は重かった。その後は1.1400を挟んでレンジ推移となり、引けにかけて一旦1.1375まで下落した後、1.1381レベルにてNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	ドル円は108.33レベルでNYオープン。朝方、発表された4月の労働市場情勢指数は▲0.9と、市場予想の▲1.0を上回ったほか、前月の▲2.1から改善したことが好感され、ドル円は一時108.60の高値まで上昇。その後は、原油やダウが下げに転じたこと等からドル円の上値は抑えられ、再びオープンレベルの108.27まで押し戻された。但し、終盤にかけては108円台前半で堅調に推移し、結局ドル円は108.32レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1381レベルでNYオープン。ドル円相場が上昇する中、ユーロドルは連れ高となったものの、ユーロドル自体は方向感が出ず、1.1400を挟んだ展開が続いた。ユーロドルは1.1414へ上昇した後、1.1379まで下落。結局、1.1382レベルで海外市場へ渡った。

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1350-1.1450	122.50-124.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円相場は、引き続き堅調地合いを維持した。本日のドル円相場は引き続き底堅い推移を予想する。本邦勢不在の中、急激に進行した円高の要因は投機筋の動きが大きいと思われる、引き続き円ロングポジションの巻き戻しが想定される。また、発言直後こそ相場への影響は限定的となったものの、麻生財務相による「為替が急変した場合には介入する用意がある」といったけん制発言はドル円相場の下支え材料とはなるだろう。目先、大きな材料に乏しい中、急激に進んだ円高の揺り戻しが継続しそうだ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。